

「小泉家に残る戦争」展

2018年 8月 3日(金)～ 8月 26日(日) 昭和のくらし博物館 茶の間・談話室ほか

国民が「パンとサーカス」に浮かれている間に危険な法案が“粛々と”可決され、憲法9条はいよいよ危なくなってきました。ついに独裁政治が始まるのでしょうか。日本が“戦争をできる国”へと変えられてしまう前に、私たちにできることがあるはずです。

小泉家にはささやかですが戦争を物語る資料が残っています。これをご覧になることで、戦争がいかに愚かしく恐ろしいものであるか、改めて考えるきっかけになればと願っております。

この夏も、昭和のくらし博物館では、館内まるごと使って戦時中のくらしを紹介した特別展「小泉家に残る戦争」展を開催いたします。庶民の戦争を語るトーク「その時、小泉家は」、そして戦時中のパン焼き実験も開催します。あの頃のパンを噛みしめてみてください。



会期中は、館内全体が戦時下のくらしとなります。

特別展関連トーク「その時、小泉家は」

8月 11日(土・祝) 話者：小倉紀子

26日(日) 話者：小倉紀子・松村紀代子

*いずれも午後 2:00～3:30 (予約不要、入館料のみ)

小泉家三女 小倉紀子が、小泉家のくらしを軸に当時の時代背景をからめて戦中戦後の様子を語ります。戦争直後の代用食だったパンの試食もあります。



8/26には、大陸からの引き上げ体験者である松村紀代子さん(文筆家・翻訳家)をゲストにお迎えしてお話しいたします。

長女(小学5年)が集団疎開に出発する日、写真館で撮った小泉家の家族写真(昭和19年8月15日)

企画展「パンと昭和」展 関連実験

「電極式パン焼き器で 当時のパンを焼いてみよう」

(神奈川大学理学部 青木孝先生)

8月 19日(日) 午前 11:00～午後 4:00

の間、随時おこないます
(所要時間：約30分)

食料が不足する中、各家庭で工夫して焼いていたのが、代用品としてのパンでした。いったいどのようなものだったのか?? 青木先生が科学の目で解き明かします。当時のパンが再現される貴重な機会ですよ。ぜひ味わってみてください!

会場：昭和のくらし博物館 分室(当館に隣接)

参加費：博物館の入館料500円のみ

*小学生～高校生、友の会会員は300円

定員：各回10名程度

お問い合わせ：下記のメール・電話・FAXにておたずねください



昭和のくらし博物館

開館日：金・土・日・祝日 (8/31・金～9/2・日は臨時休館)

開館時間：午前10時～午後5時

*お盆中も上記の通り開館いたします

入館料：大人 500円 小学生～高校生 300円

〒146-0084 東京都大田区南久が原 2-26-19

<http://www.showanokurashi.com>

mail@showanokurashi.com

tel/fax 03-3750-1808 (電話でのお問合せは開館日の開館時間中をお願いします)

